

令和元年 6 月

各 位

東京海洋大学 明治丸海事ミュージアム館長
國枝 佳明

「海の日」関連企画のご案内

日頃から明治丸海事ミュージアム事業に対しましては格別のご支援を賜り、
厚く御礼申し上げます。

このたび、7/15（月・祝）に海の日イベントとして「第 18 回 明治丸シン
ポジウム」を、8/20(火) から 11/2（土）まで特別展示「百年目の航海～昭和 35
年日米修好通商条約百周年記念航海 日本丸・海王丸～」を開催いたします。

つきましてはチラシを同封させていただきましたので、お目通しいたでき、
ぜひお越しくださいますようお願いいたします。（講演内容については一部変更
することがありますのでご了承ください。）

また、海の日は 10 時より明治丸の一般公開及び「第 4 回 明治丸フォト・絵
画コンテスト」の表彰式を行います。こちらもお時間が合いましたら、ご見学
ください。

※明治丸公開、明治丸シンポジウム、特別展示とも無料、事前予約は不要です。
今後とも引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

【問合せ先】

〒135-8533 東京都江東区越中島 2-1-6

国立大学法人東京海洋大学

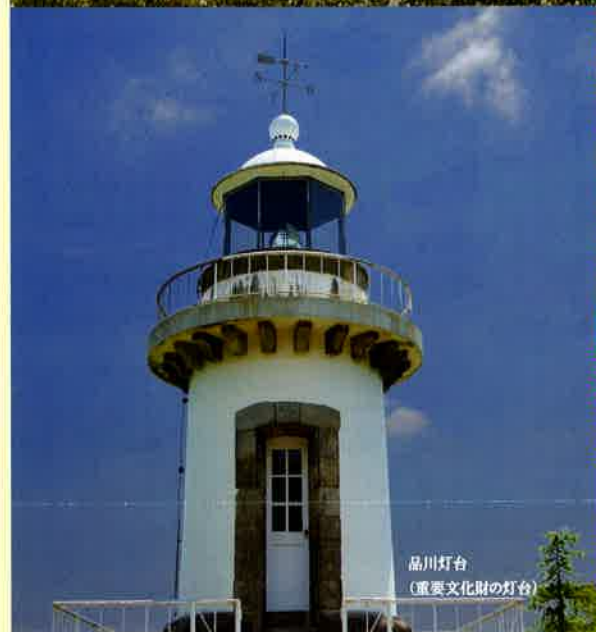
明治丸海事ミュージアム事務室

Tel:03-5245-7360

E-mail:meijimaru@o.kaiyodai.ac.jp



燈台巡廻を通じて 近代日本を支えた明治丸



日時

令和元年7月15日(月/祝・海の日)
13:00~16:30

場所

東京海洋大学 越中島キャンパス
越中島会館2階講堂

入場無料

事前予約不要

第18回 明治丸シンポジウム

燈台巡廻を通じて 近代日本を支えた明治丸

令和元年7月15日(月/祝・海の日)
13:00 ~ 16:30

東京海洋大学 越中島会館2階講堂

明治丸は145年前に、燈台巡廻船として建造されました。

明治初期に、西洋の国からDark Seaと呼ばれていた日本近海において、航海の安全を保つための燈台は必要不可欠のものでした。その燈台を巡廻しながら、保守点検と安全の維持を支えた明治丸は、重要な役割を果たしてきました。

今回の明治丸シンポジウムは、①明治丸の燈台巡廻の航跡 ②灯台の魅力と灯台守のいた時代 ③灯台の歴史と取り巻く変化 ④海難防止技術と燈台の役割 に光を当て、燈台巡廻を通じて明治丸が担ってきた重責をあらためて見つめます。

プログラム

司会：須永 俣子（NPO法人江東区の水辺に親しむ会）

12:30 開場

13:00 開会

開会挨拶：竹内 俊郎（東京海洋大学長）

来賓挨拶：山崎 孝明 様（江東区長）

来賓挨拶：高原 修司 様（海上保安庁交通部長）

13:20 講演Ⅰ「明治丸の燈台巡廻の航跡」

庄司 邦昭（東京海洋大学 名誉教授）

14:00 講演Ⅱ「灯台の魅力と灯台守のいた時代」

不動 まゆう 様（「灯台どうだい？」編集長）

14:40 休憩

15:00 講演Ⅲ「灯台の歴史と取り巻く変化」

向井 大幸 様（海上保安庁交通部企画課専門官）

15:40 講演Ⅳ「海難防止技術と燈台の役割」

國枝 佳明（東京海洋大学教授）

16:20 閉会挨拶：庄司 るり（ミュージアム機構長）

16:30 閉会

（プログラムの内容等について一部変更することがありますのでご了承ください）

講演者のご紹介



庄司 邦昭さん（講演Ⅰ）

東京海洋大学 名誉教授

平成4（1992）年 東京商船大学 教授

平成15（2003）年 東京海洋大学 教授

平成23（2011）年 東京海洋大学 名誉教授

元国土交通省運輸安全委員会委員



不動 まゆうさん（講演Ⅱ）

灯台専門フリーペーパー「灯台どうだい？」編集長。世界各地の灯台を取材・発行している。灯台女子としてテレビ、ラジオ出演、新聞、雑誌の掲載多数。毎年「灯台フォーラム」を企画・運営。講演等で「灯台」や「フレネルレンズ」の文化的価値を訴え、「100年後の海にも美しい灯台とレンズを残す」ことを目指す。著書『灯台はそそる』（光文社）、『灯台に恋したらどうだい?』（洋泉社）



向井 大幸さん（講演Ⅲ）

海上保安庁交通部企画課専門官（三等海上保安監）

平成元（1989）年 海上保安学校灯台課程卒

平成26（2014）年 第五管区海上保安本部交通部企画課長

平成27（2015）年 第三管区海上保安本部交通部企画課長

平成30（2018）年 海上保安庁交通部安全対策課 主任海上安全情報官

平成31（2019）年 海上保安庁交通部企画課専門官



國枝 佳明さん（講演Ⅳ）

東京海洋大学教授

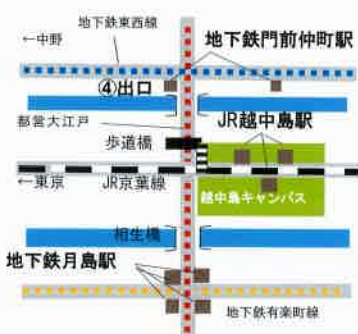
平成19（2007）年 航海訓練所 練習船銀河丸船長

平成20（2008）年 航海訓練所 練習船海王丸船長

平成24（2012）年 航海訓練所 航海科長

平成26（2014）年 東京海洋大学教授

平成31（2019）年 明治丸海事ミュージアム館長



（明治丸シンポジウムは、明治丸海事ミュージアム事業の一環として実施するものです）

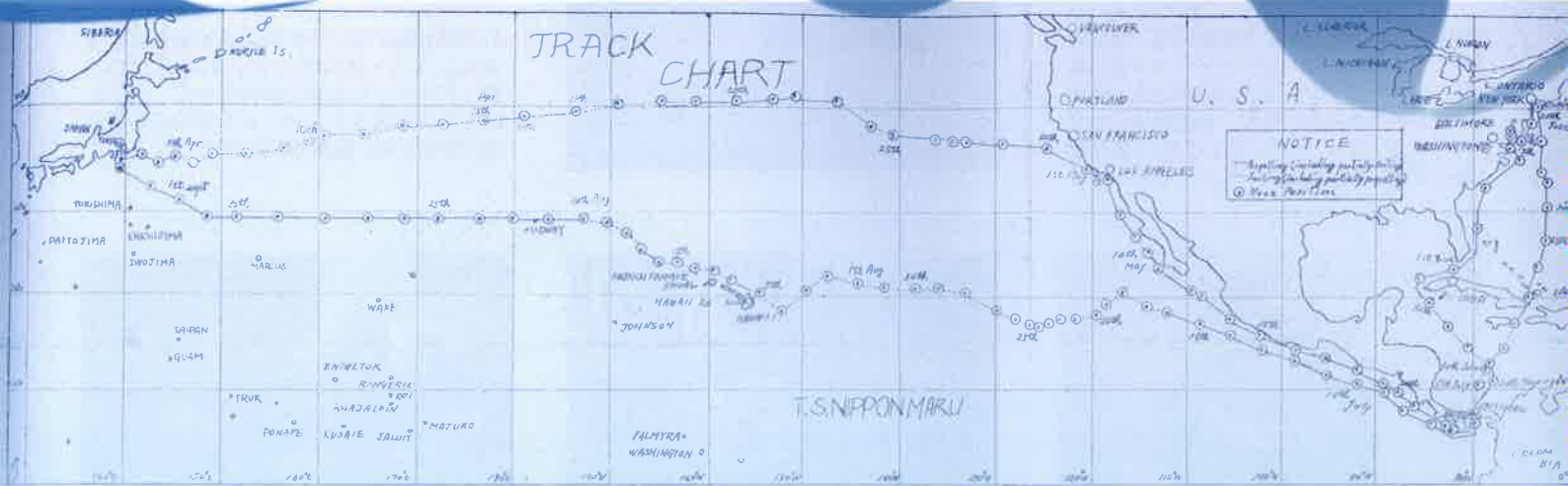
J R京葉線・武蔵野線 越中島駅から徒歩2分
地下鉄東西線・大江戸線 門前仲町駅から徒歩10分
地下鉄有楽町線・大江戸線 月島駅から徒歩10分

東京海洋大学 明治丸海事ミュージアム
〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6 TEL 03-5245-7360

百年目の航海



昭和35年日米修好通商条約百年記念航海
日本丸・海王丸



令和元年 8月20日(火) ~ 11月2日(土)

東京海洋大学
越中島キャンパス

明治丸記念館
入館無料

開館日 毎週火・木曜日
第1・3土曜日
(9月27日は開館)

開館時間 10時-16時(8・9月)
10時-15時(10・11月)

百年目の航海

昭和35年日米修好通商条約百周年記念航海

日本丸・海王丸

万延元(1860)年、徳川幕府は日米修好通商条約批准書交換のために、遣米使節を乗せたポーハタン号と随伴船咸臨丸をアメリカへ派遣しました。その100年後、昭和35(1960)年、日米両国は修好条約百年を記念して式典を挙行し、その一環として日本丸は遣米使節の航跡を、海王丸は咸臨丸の航跡を、それぞれ迎えることとなりました。本展示では万延元(1860)年の渡米に関する資料と、昭和35(1960)年の日本丸・海王丸の寄港地での写真や各地のパンフレットなど貴重な資料を紹介します。

なお、日米修好百年記念航海の資料には、当時の日本丸に実習生として乗船された小宮 赳氏から提供されたものが多く含まれています。



万延元(1860)年 日本使節団ワシントン海軍
工廠訪問記念撮影(写真上)

万延元(1860)年、批准書交換の為、遣米使節はアメリカからの迎艦ポーハタン号に乗船し、サンフランシスコに向かった。サンフランシスコからパナマ、鉄道利用、ロアノーク号、フィデルフィア号と乗り継ぎ、ワシントンに到着した。

初代日本丸から見たパナマ運河（太平洋から大西洋へ）（写真下）

パナマ運河はフランスで計画されたが失敗、1914年アメリカにより完成した。昭和35(1960)年、日本の練習船史初のパナマ運河通過船となった初代日本丸。その船上から見たパナマ運河の風景写真。



初代日本丸

主催：明治丸海事ミュージアム

共催：東京海洋大学 附属図書館



昭和35(1960)年 ワシントン海軍工廠における初代日本丸実習生(写真上)

昭和35(1960)年、日米修好百年記念として初代日本丸・初代海王丸の航海が行われた。ワシントン海軍工廠に於いて、武士に扮した学生達を中心に、百年前の日本使節団の写真と同じ配置で写真を撮った。



初代海王丸

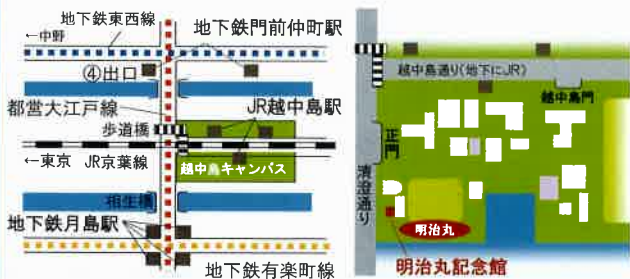


昭和35(1960)年 Washington, D. C. にて武士
姿でパレードする学生



昭和35 (1960) 年 New York

(本展示は明治丸海事ミュージアム事業の一環として開催するものです)



JR京葉線・武蔵野線 越中島駅から徒歩2分
地下鉄東西線・大江戸線 門前仲町駅から徒歩10分
地下鉄有楽町線・大江戸線 月島駅から徒歩10分

東京海洋大学
明治丸海事ミュージアム

〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6
TEL : 03-5245-7360
Mail : meijimaru@o.keiyo.ac.jp



明治丸
HP

明治丸
twitter